

なのはな

未来を見通して今を考える

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキナーダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
◇城東子育て支援センター・あんと
◇なのはなガーデン
〒420-0961 静岡市葵区北一丁目16-5
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npa-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

猛暑と甚大な災害の多い今年の夏。

命を失った人の事を考えると心を痛めることが多い毎日でした。

これは、もう素人でも温暖化の影響と分かり、これから日本の四季は、どうなるのだろうと深く感じるこの頃。

何年前か、ある政党の選挙ポスターに「今の便利さを手放せますか？」と書いてあり妙に納得をしたのを覚えています。「温暖化」の危険については、ずーっと昔から学者や研究者など多くの人が言い続けていることですが、「先の事をイメージして今を考える」のは、なかなか難しく日常を優先して、地球を温めてしまっている現実に1人1人が考えていかないと未来を子どもに残せないことを深く考える2014年の夏でした。

そして、先を見通して今を考えることが難しいと言うのは「可能性を信じて働きかける」保育・子育てにも共通しています。

子どもの日常を見て「褒めたり」「認めたり」「叱ったり」する行為は、積み重なって子どもの人格を創っていきます。

例えば、失敗したとき「どうした？」と聞かれたら子どもは、自分の思いを伝える力。大人の話聞く力。どうすればよかったか考える力が育ち、折り合いをつける力が育っていきます。失敗したことだけを見て「前から言ってたでしょ」「ちゃんとしないから」と言われたら子どもは、これらの力を積み重ねていくのは、難しいですね。

今、大人達に問われているのは「未来を見通して今を考える」事なのかもしれません。

9月

夏の間心と身体の発達を土台にめざましく大きくなる時期ですが、特に子ども達との関係が深まっていく時期です。保育は、そうしたクラスの発達を大切になかまの関わりを、じっくり丁寧に育てそれは、プラスだけでなくマイナス（不安になる・くやしい・さびしい・・・）も含んでいます。そんな時、大人は、すぐに手を出してしまいがちですが、子ども達の中で解決していくのをゆっくり、じっくり待っていてあげましょう。

大人達もそんな子ども達のパワーに負けずに子どもに見習って成長したいですね。

(おか)

あおぞらだより

はじまり

いよいよ9月。

今年の夏は「暑い！あつい！！」「アツイ！」を何度言ったことでしょうか。

そんな暑さとうまく付き合って8月 保育園版のお友だちは、水・プールあそび、虫捕り・・・と、まったり遊んで過ごしてきました。

そんな中、小学生・中学生・高校生のお兄さん、お姉さん（卒園生）が何人か遊びに来てくれました。

子どもたちは大喜び！その日は保育者がいらなくなるほど。【「先生はシワがあるし、シブい！」えっ！？若いお姉さんたちと比べてるの？このシワには人生の重み（笑）があること、きっとわかる時がくると！なんて】その位嬉しくて大好きってことですね。

何でも言うことを聞いてくれる！？（イヤな時はお断りしてもらっています）嬉しくてたまりません。

「いっしょに遊ぼう！」「いっしょに食べよう！」「また明日も来る？」と大人気。目を輝かせて甘えています。お兄さん・お姉さんありがとう！みんなの姿から大人も学ぶものがたくさんあります。

きとお姉さんたちは“ちょっと幼稚園に遊びに行ってみようかな～”って。ちょっとした思いつきかもしれないけれど・・・何かモヤモヤするものがあるかもしれないけれど・・・また何にもないかもしれないけれど・・・懐かしい幼稚園に来て小さい子と遊んで何かを感じて、また自分を確かめて戻っていくのかな？小さい子どもたちへたくさんのお愛・心のプレゼントをして。

子どもたちはいっしょに遊んで、かわいがってくれるお兄さん・お姉さんの姿に憧れを感じていることでしょう。ステキな関わり嬉しいですね。

また、8月1日には卒園生交流会がありました。藁科川での川あそび。（50数名が参加してくれました）いろいろあるかもしれないけれど、そこでの姿も重ね合わせて、みんなもきとお兄さん・お姉さんのように自分らしく輝いていけようかと確信したような夏でした。ありがとう！

新しくはじまる9月に向かって、また1歩、進み始めていく勇気をもったように思います。（いなば）

わとと・あおぞら

常葉学園短大の保育専攻科の学生さんが、授業の一環としての施設体験でわととに来てくれました。紙芝居や歌あそびをしながら、利用者親子さんと関わりながら交流。中には抱いていたお子さんが学生さんの腕の中で寝入るという(安心できたのでしょうか)、微笑ましい事もありました。

その時の感想をいただきましたので、紹介しますね。

「少しの緊張感をもって行ったが、室内に入ると気持ちが自然と和らぎ、学生がお母さんや子どもたち、スタッフに迎え入れてもらったような感覚だった。子育て真っ最中のお母さんたちの居場所だと実感し、保護者の子育て力の低下が言われている現代であるからこそ、保護者の子育てを支え、共に育て合う姿勢を伝える場が重要と感じ、そして子育て支援の大切さをあらためて考えた。」

「わととの環境は物的・人的によく考えられているから、親子で安心して来ることができると感じた。また 子育ての楽しいこと、困っていることを他の親やスタッフと共有できるので、親子で育つこともでき、のんびり・ゆったり過ごしなが、子どもも親もスタッフも笑顔になれる場所だと思った。」

来年度には、保育現場で活躍されるであろう学生さんに、わととを知り、親子さんと触れ合う中で このように思ってもらい嬉しかったです。いつでも、子育ての思いを共感し合える場所でありたい！です。 <かよみ>

城東子育て支援センター あんと

先輩ママあつまれ～！！

城東子育て支援センターあんとでは、6月～「子育てママの井戸端会議」と題して、少人数で毎週1回(計4回)たっぷり話をする会を開催しています。

話す内容は、その会に集まったママたちで決めて、こどものこと、自分のこと、家族のことなど、1時間半たっぷりお話していきます。

そんな中で、子育ての悩みを話したとき、「〇〇してみるといいよ」「私は〇〇したよ」「私の時は～だった」など、ちょっと先行く先輩ママの言葉に救われたり、悩みが解消されたりなんていう場面がしばしばありました。

ちょっぴり先の見通しが持てるだけで、子育てが楽しく感じられることもあるから、先輩ママの言葉、存在は偉大です。

この度、県の事業を受け、「子育ては尊い仕事」であるという理念を広く浸透させるため、ママからママへのサポーターを募集しています。

ちょっと先行くママから「あんと」に遊びに来るママたちへ育児サポート(ママのお話を聞く、親子とあそぶ、絵本の読み聞かせなど)をしてくれるママ達！是非「あんと」に足を運んでください。(ゆうこ)

まほろばの部屋から

今月は、まほろばの活動の一つ、「寺子屋まんまある」の活動の紹介です。この欄では初めましてなので、もしかしたら知らない方もいらっしゃるかもしれませんね。島田市の駅前以小・中学生の算数(数学)・英語を中心とした学習支援の教室を開いています。学習だけでなく、集中しにくい・落ち着きがない・コミュニケーションが苦手など気になる点も併せて支援していく教室です。

通常は一对一の個別指導をしていますが、集団活動として、年に3回“お楽しみ会”を行っています(参加は自由)。ゲームを考案しみんなにやってもらう子、折り紙などの作品を見せる子、手品などを披露する子、内容はそれぞれに任せられています。自分から提供はなしでも、参加する子もいます。今回はそのお楽しみ会の様子を紹介します♪

.....

今年度最初のお楽しみ会を7月末に行い、通級生7名に加え、そのきょうだい、高校生の卒業生も参加しました。

どの子も、お楽しみ会を心待ちにしてゲームを作ったり、どう説明したらやり方が伝わるか考えたり、実際にやってみたりと準備を重ねてきました。

発泡スチロールの魚をクリップの針がついた割り箸の竿で釣る魚釣りゲーム、ビー玉を転がして穴に落とすビー玉落としゲーム、弓矢で怪獣的を狙う的当てゲームなどがありました。やはり、手作りのゲームには味があります。

提案した本人達も大満足で、早くも次回に向けて準備を始めた子もいます。参加のみの子も、ゲームのやり方が上手で「うまい！」などと言われて、みんな喜んで参加し、どの子にとっても認められる場になっていました。個別支援だけでなく、こうやって関わり合う良さを感じました。

(やすこ：まんまあるスタッフ)

なのはなガーデン

今年の夏も暑いですね。「あつさで食欲がなくて～」と言うのは大人達。

なのはなガーデンの子どもたちは暑くても食欲はモリモリ!給食の先生が「今まではご飯は2合だったけどこれからは3合炊くようにするねー」と言っているくらい食事量が増えていますよ。

午前のおやつではスティック野菜(大根、人参、きゅうり、セロリ等)もパクパク食べています。4月の頃には野菜が苦手だった子も今ではおかわりをしている姿もあるんですよ。

「家ではこんなに食べないです」「園では〇〇を食べているんですね。家ではぜったいに食べないです。びっくり」とお家の方からの声。

大好きなお友だちと一緒に食事をすると苦手なものもパクリと食べてみたくなることもありますよね。苦手なものでも「チュッ」とひと口なめてみたり、かじってみたりにおいをかいでみたりするのも大事な経験ですね。

給食の先生もおいしく食べられるように切り方、大きさ、味付けといろいろ工夫しているのはもちろん。そしてビタミン、愛もたっぷり入っています。

夏バテ知らずなのはなガーデンのお友だち、夏を乗り越えるとひとまわり大きくなっていることでしょうね。

(末)